

長徳寺便り

開山忌の御案内

長徳寺は今年で開山五百年になります

今年で開山五百年を迎える長徳寺の歴史は、その昔吉野屋敷佐藤氏の菩提寺として保呂羽院之沢に建立された天台宗三文寺と称されていたが、廃寺となり一三八八年時宗総本山遊行寺より第九十代亀山天皇の孫にあたる遊行十二代尊観法親王遊行廻国の途次、この廃寺を時宗長徳寺と改めた(開基)その後一五一二年、佐藤信基剃髪し慈阿弥と号し初代住職となる(開山)更に一六八二年現在の地に建立移転し山号不退山合掌院長徳寺となる。

よって、開山以来歴代住職並に総檀越信徒各家先祖代々の霊追善供養を、来る十月二十八日(日)午前十時半から法話、十一時より開山

発行

時宗
不退山長徳寺
住職
渋谷真之

開山忌施餓鬼法要会の日程

- 日時：10月28日(日) 10時30分/法話
11時00分/法要
- 場所：長徳寺本堂
- 法要：長徳寺開山500年記念開山忌施餓鬼法要会

忌施餓鬼法要会を厳修する予定。尚、法要当日は、岩手県及び宮城県内時宗寺院を御随喜し、時宗独特の施餓鬼法要(散華・行道・樂器・声明)を盛大に執り行い、又、法話は本山より講師の方をお招きする予定です。ご供養を希望される方は、盆旗配布時(八月上旬)に担当寺院様へ供養料一万円(各家先祖代々の霊開山忌施餓鬼供養塔婆・記念品含む)を添えてお申込み下さい。尚、当日の法要には輪袈裟をおかけ下さい。又、当日来られない方は担当寺院様より供養塔婆をお受け取り下さい。



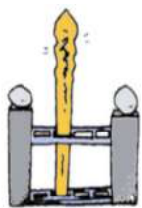
仏教用語 『施餓鬼』

各宗派を通じて行われる伝統的仏教行事の一つです。仏教語で餓鬼とは、生前に嫉妬深かったり、物惜しみやむさぼる行為をしたものが赴くところとされています。また、私共人間の心に生じるむさぼりをあらわしている餓鬼にたいして、お釈迦さまの教えにより餓鬼だけでなく、ご先祖さまの諸精霊を供養し、また同時に縁の諸精霊を延寿を願う法要です。この機会に自他に救われる功德を積んでいただければ幸いです。

お知らせ

古い塔婆はどうしたらいいの？

墓地の片隅に古い塔婆が重なってはいませんか？長徳寺墓地内水汲み場に古塔婆置き場がございますのでお持ち下さい。後日お焚きあげ致します。お盆前のお墓掃除にご利用下さい。



ひとこと

葬儀をはじめとする諸法要、本山や他寺院との合会の為、お寺を留守にする事も多くなりました。来寺の時に留守をしていたり或いはお待たせしたりして檀家様に御迷惑をお掛けしないためにも、予めお電話にて来寺時間のお申し出をしていただきたく、ご理解の上、ご協力の程宜しくお願い致します。住職